

金沢大学 学術メディア創成センター 教員公募

1. 公募人員：テニュア・トラック准教授または任期付き助教（5年） 1名
2. 所 属：学術メディア創成センター
<https://www.emi.kanazawa-u.ac.jp/>
3. 専門分野：大学全体の教育・研究活動を支える情報基盤及びデジタル環境の安全性・信頼性向上に関する研究・教育を推進できる人材を募集します。対象分野は、サイバーセキュリティを中核とし、AIセキュリティ、プライバシー保護技術、情報ガバナンス、情報ネットワーク、ソフトウェア工学、クラウド・分散システム、危機管理・BCP、情報倫理・ELSI等、デジタル環境の安全性・信頼性向上に関わる関連分野から広く募集します。本センターでは、大学全体のサイバーセキュリティ推進、情報基盤システムの企画・運用・高度化、インシデント対応、情報教育等に参画していただきます。大学全体の情報基盤及びサイバーセキュリティの設計・実践を通じて、安全・安心かつ快適な学内インフラ環境を実現するとともに、これらの実運用環境を自らの研究フィールドとして活用し、新たな知見の創出や研究成果の社会実装につなげる意欲を有する方を歓迎します。
4. 教育担当：共通教育科目、大学院GS科目
5. 担当科目：データサイエンス基礎、情報の科学、情報倫理・セキュリティリテラシー、計算機・プログラミング・ICT関連（講義や実習講義）の共通教育科目ならびに大学院GS科目の中から、専門分野等を考慮の上、担当いただきます。
※英語による講義を担当いただく場合があります。
6. 勤務形態：テニュア・トラック准教授または助教（いずれも常勤・任期5年）
採用3年目に学内中間審査、また任期満了前の所定の時期に研究・教育および業務実績に関する学内最終審査を行います。学内審査の結果に応じて、再任された場合は、新たな任期はつきません。
テニュア・トラック准教授については、学内審査の結果に応じて、任期満了後に、テニュア教授への昇任又はテニュア准教授への移行が可能です。テニュア審査において、テニュア・トラック期間を延長することが認められた場合（最長3年間）は、延長後の期間の最終年次に再度審査を実施します。本学テニュア・トラック制度の規定については、下記URL をご覧ください。
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/kiteishu/act/frame/frame110000137.htm>
[再任審査事項]
 - （1）「3. 専門分野（担当業務）」に記載のセンター業務にかかる活動
 - （2）研究活動（論文発表・学会発表等）
 - （3）教育活動（講義等）
 - （4）外部資金獲得状況
 - （5）大学及び社会への貢献等
7. 給 与：年俸制が適用されます。
8. 応募資格：(1) 着任時に博士の学位を有する研究者

- (2) 研究、教育に熱意を有し、センター業務に積極的に携わる意欲があること
- (3) 情報セキュリティ、情報通信工学、ネットワーク工学、ソフトウェア工学、人工知能、データサイエンス、情報システム、情報ガバナンス、教育工学あるいはそれらの知見を駆使した学問分野で優れた研究業績を有する方
- (4) サイバーセキュリティ推進及び情報基盤高度化業務に積極的に参画する意欲を有する方。着任時に必ずしも高度なセキュリティ実務経験を要求しませんが、着任後、関連知識・技能の習得や研究への応用に積極的に取り組んでいただける方。
- (5) 日本語と英語による十分なコミュニケーション能力を備えていること

9. 着任時期：令和9年4月1日以降のできるだけ早い時期

(ただし令和9年3月1日以降の早期着任についても応相談)

10. 提出書類：下記の項目(1)-(5)については、下記URLに掲載されている「個人調書」に記入の上、郵送または電子メール（5MBまで。5 MB以上はアップローダー等を利用）により応募してください。(6)-(9)は別紙となります（書式任意）。

<https://www.emi.kanazawa-u.ac.jp/recruitment>

- (1) 履歴書（写真添付、郵便番号、現住所、連絡先[電話番号、メールアドレス]、大卒以降の学歴、学位、職歴、学会及び社会における活動、賞罰について記入）
該当箇所）Ⅰ.個人調書（但し、様式に欄のない電話番号はメールアドレスの下に記載）
- (2) 研究業績（査読付き研究論文（学術雑誌掲載のもの）、研究論文（国際会議プロシーディング、査読有無を記載）、著書、総説・解説、特許等に分類し、共著者名、発表機関、巻（号）、最初と最後のページ（論文番号）、発表年を含めて記載。申請者名に下線を付与。SCI expandedに含まれる雑誌は*（アスタリスク）を付け、Impact factorを記載）
該当箇所）Ⅱ. 研究業績 1. 研究論文－6. 特許等、Ⅲ. 研究活動・教育活動・学会及び社会的活動について 1. 研究活動について (1)研究業績数
- (3) 学会及び社会における活動
該当箇所）Ⅲ. 研究活動・教育活動・学会及び社会的活動について 3. 学会・社会活動（5年以内の状況）、大学・学域等（学部・学科を含む。）の委員会委員（5年以内の状況）
- (4) 科学研究費補助金、受託研究、共同研究、寄付金等の外部資金の獲得状況
該当箇所）Ⅳ. 外部資金の獲得状況について
- (5) 着任後の教育・研究ならびに業務に対する抱負（10ポイントで1,000字程度、A4用紙1ページ以内）
該当箇所）Ⅴ. 教育・研究に対する抱負
- (6) これまでの研究活動及び教育活動とその状況（A4用紙1,500字程度）
業務実績(セキュリティ関係の資格や修学・研修実績、研究室等のサーバの管理経験など)があればそれらも記載してください。
- (7) 主要論文の別刷り（3～5編以内、コピー可）
- (8) 応募者に関して意見を伺える方2名の氏名及び連絡先
- (9) 着任を希望する職位（准教授または助教）

★ 上記全ての書類を、郵送または電子メールにより提出してください。

★ 郵送の場合は、上記全ての電子データ（pdf、wordファイル等）をCD-ROMやUSBメモリ等の記録メディアにコピーして同封してください。

★ 電子メールの場合は、送信データの総量が5MBまでとし、5MBを超える場合は、アップローダーなどを利用してください。

11. 応募締切：令和8年10月19日（月）必着

12. 選考方法：書類選考の上、候補者に対し面接（プレゼンテーション、英語での模擬授業等）を行います。面接の旅費等は自己負担となります。選考及び面接結果については、本人に直接通知します。

13. 書類提出先：郵送の場合

〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学 学術メディア創成センター長宛

※ 封筒表面に「学術メディア創成センター セキュリティ分野教員応募書類在中」と朱書きの上、簡易書留にて郵送してください。応募書類は返却しません。

メールの場合

E-mail: jyosui@adm.kanazawa-u.ac.jp

※ メールまたはアップローダーで送信する場合は、メールの件名を「学術メディア創成センター セキュリティ分野応募書類送信」とし、アップローダーを利用した場合はそのURLを送信してください。メール送信後、2営業日経っても受領の返信がない場合は、「14.問い合わせ先」へお問い合わせください。

14. 問い合わせ先：〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学 学術メディア創成センター長 教授 笠原 禎也

E-mail: kasahara@staff.kanazawa-u.ac.jp

15. その他：

(1) 就業規則に関する規程については、下記URLをご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

(2) 金沢大学では、教員の英語による教授能力向上と、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育に取り組んでいます。詳細は下記URLをご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/sgu/kusgu/project.html>

(3) 金沢大学では、ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。詳細は下記URLをご覧ください。

<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

(4) 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、学術メディア創成センターでは女性研究者の積極的な応募を歓迎します。